

# 声

業界の



● クリーンネット笛吹協業組合  
理事長 藤巻眞史氏

## 業界の現況は？

当組合では、笛吹市より委託を受け、家庭系廃棄物及び資源物の収集運搬搬業務を行っています。笛吹市では二酸化炭素の排出量削減のために、ごみ減量を行うことが課題となっていました。この課題を克服するため、搬出されるごみの調査を行った結果、搬出されているごみの多くは、資源として再利用できるものでした。これを改善すべく、笛吹市と協働し、平成18年より「やってみるじゃん！53(ごみ)減量運動」を推進してきました。当運動では、笛吹市の生活系のごみを53%削減するという目標を掲げ、ごみの減量化や分別、資源化を推進するものです。その結果、現在では30%の生活系可燃ごみの減量化に成功しました。今後も目標の53%減量を目指し、活動を行っていききたいと思います。

その他、環境保護の観点から、笛吹市に協力し、「廃食用油資源化事業」を実施しています。これは、市内から排出される使用済てんぷら油の収集を行い、笛吹市のバイオマスタウン構想の一環として、市が設置した廃食用油精製プラントにてBDF(バイオディーゼルフューエル)に再生するもので、生成されたBDFはゴミ収集車の燃料等として活用しています。

## 今後の展開は？

今後は、社会貢献として、年配の一人暮らしの方が困っているといわれる粗大ごみ等の収集のボランティア活動を行っていきます。また、環境保護としては、里山保護活動を「山林所有者・行政・組合」が一体となって推進していきます。

組合及び組合員は、今後ともCSR(企業の社会的責任)向上に努め、ごみの減量化、環境保全に全力で取り組んでいきます。



笛吹BDFプラント